

□ 環境関連の取り組み項目と目標(2014~2016年度)

取り組み項目		目標			
		管理指標	2014年	2015年	2016年
<b>スマートコミュニティの推進</b> 最適マネジメント技術やICT技術の開発・導入等によりスマートコミュニティの実現を目指す。	要素技術開発・活用、社内外連携等	-	スマートコミュニティの推進		スマートコミュニティのプロジェクト展開
	技術開発	-	ZEBの要素技術開発		ZEBの技術的確立
<b>ネット・ゼロエネルギービルの推進</b> 省エネルギー設計、再生可能エネルギー利用の取り組みや要素技術の開発によってネット・ゼロエネルギービル(ZEB)の実現を目指す。	環境配慮設計の推進	CASBEE評価Sランクプロジェクト等の件数 (*1)	件数の拡大		
	省エネルギー設計等による建物運用時エネルギー消費量の削減	運用時エネルギー消費量の削減率 (ベストプラクティス;2000年一般建物比) (標準建物:2000年一般建物比)	△60%以上 △19%以上		
	技術開発等による木造建築の推進	-	2時間耐火部材の整備		中層耐火木造建築の技術的確立
<b>環境負荷の低減</b> 地域・地球環境への負荷低減に積極的に取り組み、持続可能な事業の基盤を強化する。	建設副産物の発生抑制および再資源化促進	最終処分率(重量比)	4.0 %以下	3.5 %以下	3.0 %以下
	施工時に排出されるCO2排出量の削減	CO2排出量原単位(施工高あたり)	10.3 t-CO2/億円以下	10.1 t-CO2/億円以下	9.9 t-CO2/億円以下
	グリーン調達	重点グリーン調達品目(当社基準) 9品目採用プロジェクト件数比 (*2) (設計段階・施工段階)	85 %以上	85 %以上	85 %以上
	自社オフィスにおける、紙購入量の削減、古紙リサイクルの推進	紙購入量、古紙リサイクル率	前年と比べ、維持・改善		
	節電対策や運用改善などによるエネルギー使用量の削減	オフィスにおけるエネルギー使用量	前年より改善		

□ 2014年度の目標と実績

取組み項目		管理指標	目標	実績	判定
<b>スマートコミュニティの推進</b> 最適マネジメント技術やICT技術の開発・導入等によりスマートコミュニティの実現を目指す。	要素技術開発・活用、社内外連携等	—	スマートコミュニティの推進	・スマートコミュニティ推進室の設置 ・大阪ビジネスパークにおけるサステナブル・スマート・コミュニティの取組み(電気自動車等バッテリーからの給電システム、オフィスワーカーを分散型コミュニティスペースに誘導する「ソトコミ®」の実証試験実施等)	○
	技術開発	—	ZEBの要素技術開発	未利用エネルギー活用技術の構築等 「近未来ビル対応型建築ファサード・潜顕熱分離空調システムの開発」	○
<b>ネット・ゼロエネルギービルの推進</b> 省エネルギー設計、再生可能エネルギー利用の取組みや要素技術の開発によってネット・ゼロエネルギービル(ZEB)の実現を目指す。	環境配慮設計の推進	CASBEE評価Sランクプロジェクト等の件数 (*1)	件数の拡大	CASBEE S・Aランクプロジェクト 73件 S・Aランクプロジェクトの比率 78.5% (比率で前年より9.5ポイント増加)	○
	省エネルギー設計等による建物運用時エネルギー消費量の削減	運用時エネルギー消費量の削減率 (ベストプラクティス;2000年一般建物比) (標準建物:2000年一般建物比)	ベストプラクティスで△60%以上 (標準建物で2016年までに△19%以上)	ベストプラクティスで削減率47.1% 標準建物で削減率19.8%以上(※)	△
	技術開発等による木造建築の推進	—	2時間耐火部材の整備(2014~2015年)	耐火集成木材「燃エンウッド®」の改善研究	○
<b>環境負荷の低減</b> 地域・地球環境への負荷低減に積極的に取組み、持続可能な事業の基盤を強化する。	建設副産物の発生抑制および再資源化促進	最終処分率(重量比)	4.0 %以下	3.2 %	○
	施工時に排出されるCO2排出量の削減	CO2排出量原単位(施工高あたり)	10.3 t-CO2/億円以下	10.8 t-CO2/億円	△
	グリーン調達	重点グリーン調達品目(当社基準) 9品目採用プロジェクト件数比 (*2) (設計段階・施工段階)	85 %以上	設計段階 85.7%以上、 施工段階 86.4%以上(※)	○
	自社オフィスにおける、紙購入量の削減、古紙リサイクルの推進	紙購入量、古紙リサイクル率	前年と比べ、維持・改善	紙購入量:前年比7.0%以上削減(※) 古紙リサイクル率:前年より3ポイント以上向上(※)	○
	節電対策や運用改善などによるエネルギー使用量の削減	オフィスにおけるエネルギー使用量	前年より改善	前年比2.9%以上削減(※)	○
	技術開発等による木造建築の推進	—	2時間耐火部材の整備(2014~2015年)	耐火集成木材「燃エンウッド®」の改善研究	○

\*1 CASBEE: 建築環境総合性能評価システム。評価指標によるランクは、「S(素晴らしい)」、「A(たいへん良い)」、「B+(良い)」、「B-(やや劣る)」、「C(劣る)」の5段階。

(実績の ※の項目は、本支店ごとに管理。)

\*2 対象は、当社設計施工の、2,000 m<sup>2</sup>以上の新築・増改築工事および10億円以上の改修工事。

## □ マテリアルフロー

国内の事業活動に由来する資源消費量や環境負荷の現状を可能な限り定量的に把握しました。

### 2014年の投入、排出、再生量

